



大谷地だより

Vol.85

発行
北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
TEL (011) 891-2731
発行責任者 岡田 義明
編集責任者 北星学園大学同窓会事務局
印刷 岩橋印刷株式会社

コロナ禍での大学生生活報告

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大により、学生たちはオンライン授業や感染予防対策を講じた制限のある生活が続いています。今年度採用された同窓会奨励生に、コロナ禍での大学生生活について報告してもらいました。2022年度は学生たちが少しでも有意義な大学生生活を送れるように願います。



文学部 英文学科 3年 成田 光咲

後期の授業は、オンライン形式で始まり、自宅での時間が増えたことで、以前とは学習方法が少し変わりました。私はよくPodcastというサービスを利用します。音声や動画を視聴できるもので、空き時間だけでなく、料理を作りながら、寝る前など何かをしながら使用しています。英会話を聞き流すことによって、リスニング力と表現方法が得られていると感じますし、最近の海外事情を知ることのできるチャンネルもあります。オンライン授業ではどうしても画面を見る時間が長くなってしまっているので、とても有効な学習方法だと感じています。

ボランティアで参加している留学会社でも、オンラインを活用し、「コロナ禍での就職活動」と題して、ゲストスピーカーに体験談をお話していただくセミナーを開催しました。具体的には、京都のオフィスと合同で企画し、SNS等で宣伝・集客を行い、学生向けにZoomを使用して主催しました。セミナーでは、「就職活動で自身の留学体験がどのように活かされたのか、ボランティア活動が就職先でどのように役立ったのか」などを講演していただき、自らも参加することで大変有意義な経験ができました。

オンラインは、世界中の人とつながることができる便利なツールであることを、コロナ禍の生活で改めて強く感じています。今後もオンラインを有効に使用し、留学する機会をより多くの方に与えられるようにこの活動を続けていきたいです。

文学部 心理・応用コミュニケーション学科 3年 中野 萌里

10月頃からコロナウイルスが落ち着き、対面での授業やサークル活動が再開されました。私が所属しているゼミでは、後期から来年度の卒業研究に向けての準備に一生懸命取り組んでいます。地域連携を目的としたボランティアを予定しており、現在はそのための人員確保や地域の方との打ち合わせなどを進めています。これらはやはりオンラインで進めることは難しいため、対面で活動ができてとてもうれしいです。ただ、Zoomでは画面共有機能を利用して、資料を全員に見やすく提示することができるため、対面授業だけでなくオンライン授業も活用しています。コロナ禍でオンラインの便利さや効率の良さを特に知ることができ、学びを深めるためにもこのようなツールを積極的に活用していくことも重要だと感じました。

また、所属している演舞同好会では、9月から対面での練習を再開しました。2020年度から集合しての練習が困難となりオンラインで練習してきたため、皆で息を合わせて演舞することの楽しさを改めて実感しました。12月12日に行われた「北海道元氣文化祭-YOSAKOIソーランSAIKAISTAGE-」では、審査員投票、観客投票ともにブロックで1位を獲得しました。私自身、観客の前で演舞することが2年半ぶりだったため緊張しましたがとても楽しめました。同時に1月30日の「YOSAKOIソーランGrandprix」への出場が決まり、部員一丸となり練習に励んでいます。春から4年生になり、就職活動や卒業研究などで忙しい日々が続くと思いますが、精一杯頑張りたいです。



経済学部 経済学科 4年 齋藤 陽斗

コロナ禍では身の回りのあらゆる環境が変化し、困難なことも多々ありましたが、そのような状況下でも自ら行動し、様々な機会を得ることができました。特に私が注力したことは、「学生起業」です。

フルリモートで都内のITスタートアップ企業に参画したことがきっかけとなり、自分でも事業を起し、世の中に新たな価値を提供したいと思い、「株式会社Flatech (Flatech, Inc.)」を設立しました。コロナ禍でリモートワークが普及しなければ、ITスタートアップ企業と出会わなかったと思いますし、起業にも至っていません。

株式会社Flatechでは、「テクノロジーを通じて、フラットな世界を創る」をミッションに掲げ、世の中のあらゆる障壁を新たな価値に変える事業を運営しています。中でも、北海道の就職活動に特化した就活サービス「道産子Biz」では、就職活動における地方と都会の情報・機会格差を解決するためにWebメディアやセミナー・イベントを提供中です。また、現在はいつでも・どこでも企業と出会えるオンライン/アーカイブ配信の企業説明会の提供に向けて準備しています。現役大学生だからこそできる、学生のニーズに寄り添ったサービスの運営を続けたいと思います。

今後も経済や社会の変化によって、身の回りの環境が一変することもあると思いますが、環境変化の中には必ずしもネガティブなことばかりではなく、ポジティブな側面もあると信じていきたいです。また、大学での勉強についても、講義だけでなく自らの興味・関心を広げるために積極的に学び、学生時代だからこそ得られる貴重な経験を重ねていきたいと思っています。



リモートワークの様子

社会福祉学部 福祉計画学科 3年 鬼頭 洋介

後期に入り、少しずつ、対面授業が再開され、現在(2021.12)では私が履修しているすべての科目が対面実施されています。

後期は私にとって大きな出来事がありました。それは初めて教育実習に行ったことです。中学生の頃から目指してきた職業に向けた大きな一歩となりました。楽しみも不安もありましたが、感染が収束しない状況下で受け入れてくださった学校には感謝の気持ちでいっぱいです。昔から緊張に弱く、授業を行う際には大きな不安を背負っていましたが、持てる力を出し切れたと思います。コロナ禍だからこその不安も大きく、様々な思いがありましたが、実習でしか得ることのできない学びがあり、充実した2週間でした。

私は来年、教員採用試験を受験する予定で、毎日夜遅くまで友人と勉強しています。コロナ禍に入り、誰かと一緒に勉強できることのありがたさを強く感じました。入学時は正直、「ここで大丈夫なのか…」と思っていましたが、今は「目標に向けて前へ進もう!」と日々精進しております。残り半年ですが、切磋琢磨している仲間と目標を勝ち取れるよう、最後まで取り組んでいきます。まもなく3年次も終わり、大学生生活最後の年が待っています。以前の会誌にも書かせていただきましたが、「後悔しないために」を心に過ごしています。今後もその思いを忘れず、一瞬一秒を大事に過ごします。



大学ラウンジにて 右が鬼頭さん



大学祭当日 右が竹森さん

短期大学部 英文学科 2年 竹森 恵里花

大学での授業形態が対面になってから早くも1ヶ月が経ち、最近はいぶ生活リズムにも慣れてきました。1年前の今頃はコロナの感染者数が拡大していることから完全にオンライン授業だったため、委員会やサークル活動、人との交流など何も出来ず、授業を淡々と受けていた日々だったことを思い出します。入学時からオンライン授業がメインだった私は、10月からの対面授業により今までなかった通学の大変さや体力不足を感じ、また対面授業では出欠確認代わりの課題がないことに驚きました。オンライン授業の際は授業が終わるとすぐにZoomから退出して課題に取り掛かるという流れでしたが、対面授業になったことで授業後の先生への質問のしやすさ、何気ない会話で先生ともできることなどに嬉しさを感じています。

また、学業以外ではサークルに入ると他学部の方と関わることや、お昼の学食はたくさんの人で賑わっていることなどを初めて知り、今まで経験できなかった学生らしい生活を謳歌しています。

今年度、私は大学祭実行委員会に入ったので、大学生活で初めてのイベントを経験しました。本番の形はオンラインであったり、学祭の日程が減ったりと過去とは違うようですが、開催できたことがとても嬉しく、また他学部の学生や先輩方と一緒に活動することで、短大部以外ではどのような学びをしているのかなど、この機会に話を聞くことができ学習の視野が広がりました。11月からはEASCOM委員期間が始まり、昨年と同様オンライン開催になりますが、他国の学生と関わることができる機会を楽しもうと思っています。短大生活はあと残り半年もたないうちに終わってしまっていますが、残りの日々も学業に勤しみ学生のうちでしか味わえないことに力を注いでいきたいと思っています。

新入会員の方々へ

我ら Alumni

同窓会長 岡田 義明

同窓会へようこそ！心から歓迎いたします。同窓会では同窓生の交流活動や母校の発展に寄与する活動に取り組んでいます。ぜひ積極的に活動に参加してください。

「同窓」という言葉は、まだ電気が普及していなかった時代に、同じ窓から差し込む虫の光や雪明りで勉強した仲間という意味で、過去を懐かしむ気持ちを表しています。それ以上の意味合いは感じられません。確かに、同窓生とは、単に数年間を同じ学校で過ごしただけの関係で、入学前も卒業後も全く違う人生を送っている者とも言えます。

一方、英語では alumni アラムナイ(外来語としてのカタカナ表記はアルムナイとされることも多いですが)、その語源は里子、養子を意味したラテン語に遡ります。古英語の時代に、キリスト教の宣教師たちが教会に集う民衆に読み書きを教え、膨大なラテン語の語彙を英語にもたらしたと言われています。

alumni もその一つなのでしょう。alumni は英語に取り入れられると、学校の卒業生達という意味で用いられるようになりました。

Alumni が意味するところでは、私たちは、血は繋がっていませんが、北星学園大学という母校に育てられた里子同士、兄弟姉妹ということになります。これが同窓会の連帯感の根底にあるものではないかと私は思っています。過ぎ去った懐かしき時代を共有する我ら Alumni、皆さんが同窓会に集う日を心待ちにしております。同窓会へのご入会、おめでとございます！

北星学園大学同窓会 2020年度会計決算・2021年度予算について

同窓会定期総会は毎年10月に開催し、収支報告や予算案を同窓生の皆様にご審議いただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、残念ながら2021年度も対面で開催することができませんでした。

そのため、同窓会役員および幹事会で議案について審議を重ねたうえで本学ホームページに掲載し、皆様からご意見やご質問等を受付け、結果についてもホームページにてご報告いたしました。コロナ禍のため、このような形での対応となりましたことをご理解いただけますようお願いいたします。

2020年度(2020年10月~2021年9月) 収支決算

【通常会計】 ＜収入の部＞		2021.10.16 総 会 (単位:円) 2021.10.7 幹 事 会		備 考
費 目	予 算	決 算	差異(予算-決算)	
前年度繰越金	1,306,388	1,306,388	0	預金(北洋銀行1,250,722)、現金(55,666)
同窓会費	23,000,000	23,040,000	40,000	@20,000×1,152
総会懇親会費収入	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため懇親会中止
プロジェクト	20,000	0	△20,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のためコンサート開催中止
利息等	0	0	0	
雑収入	0	0	0	ご祝儀等
活動資金からの繰り入れ収入	15,000,000	15,000,000	0	「学生への通信環境整備等支援金」補助に充てる
合 計	39,326,388	39,346,388	20,000	

＜支出の部＞		2021.10.16 総 会 (単位:円) 2021.10.7 幹 事 会		備 考
費 目	予 算	決 算	差異(予算-決算)	
I. 事務費	4,220,000	401,901	3,818,099	
1. 会議費	400,000	55,500	344,500	幹事会(26,754)、役員打合せ(7,998)、ワーキンググループ(588)、その他
2. 交通費	3,500,000	219,060	3,280,940	幹事会(167,380)、役員打合せ(28,000)、ワーキンググループ(6,000)、支部懇親会派遣なし、その他
3. 通信費	130,000	53,444	76,556	郵送料:切手(50,826)、慶弔電報(2,618)
4. 支払報酬手数料	70,000	31,980	38,020	振込等手数料(26,510)、残高証明書(3,270)、その他
5. 消耗品費	50,000	4,248	45,752	事務消耗品等
6. 印刷費	70,000	17,669	52,331	リソグラフ、コピー機使用代
7. 雑費	0	20,000	△20,000	同窓会費返還(過年度分1名)
II. 事業費	31,410,000	28,047,630	3,362,370	
1. 行事費	2,700,000	1,493,477	1,206,523	卒業生記念品(1,456,800)、退職者記念品(30,000)、奨励金授与式(6,677)、懇親会中止
2. 同窓会文庫費	400,000	400,000	0	寄贈図書
3. 補助費	5,410,000	4,022,000	1,388,000	各支部補助(3,922,000)、体育祭補助(0)、大学祭補助(100,000)
4. 奨励費	500,000	500,000	0	@100,000円×5名
5. 奨学費	0	0	0	大学の自宅外通学支援奨励金制度の廃止に伴い、支出なし 奨学資金として北洋銀行(普)に積立
6. 会報発行費	5,600,000	5,429,348	170,652	大谷地だより印刷代(900,680) 郵送料・宛名印刷等(4,468,268)、その他
7. 業務委託費	700,000	690,805	9,195	名簿整備・保管 他
8. プロジェクト活動費	600,000	12,000	588,000	交通費
9. 寄附	500,000	500,000	0	北星学園創立100周年記念館運営(維持・保存)
10. 学生支援金	15,000,000	15,000,000	0	新規:新型コロナウイルス拡大による遠隔授業実施のための「学生への通信環境整備等支援金」補助
III. 予備費	1,196,388	0	1,196,388	
IV. 資金積立金	2,500,000	2,500,000	0	北洋銀行(普)に積立 内訳:奨学資金2,500,000円
V. 次年度繰越金	0	8,396,857	△8,396,857	預金(北洋銀行8,370,192)、現金(26,665)
合 計	39,326,388	39,346,388	20,000	

【活動資金積立会計】 (単位:円)						
活動資金積立	2019年度末(2020.9)決算額	2020年度利息	2020年度積立額	2020年度取崩額	2020年度末(2021.9)決算額	備 考
合 計	83,742,703	1,883	2,500,000	15,000,000	71,244,586	

2021年度(2021年10月~2022年9月) 会計予算

【通常会計】 ＜収入の部＞		2021.10.16 総 会 (単位:円) 2021.10.7 幹 事 会		備 考
費 目	2020年度予算	2020年度決算	2021年度予算	
前年度繰越金	1,306,388	1,306,388	8,396,857	預金(北洋銀行8,370,192)、現金(26,665)
同窓会費	23,000,000	23,040,000	20,300,000	@20,000×1,015(2021.10.1現在)
総会懇親会費収入	0	0	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため2021年10月の懇親会中止
プロジェクト	20,000	0	0	コンサート募金
利息等	0	0	0	
雑収入	0	0	0	ご祝儀等
活動資金からの繰り入れ収入	15,000,000	15,000,000	0	
＜収入計＞	39,326,388	39,346,388	28,696,857	

＜支出の部＞		2021.10.16 総 会 (単位:円) 2021.10.7 幹 事 会		備 考
費 目	2020年度予算	2020年度決算	2021年度予算	
I. 事務費	4,220,000	401,901	4,240,000	
1. 会議費	400,000	55,500	400,000	幹事会(250,000)、役員打合せ(60,000)、ご祝儀(60,000) 他
2. 交通費	3,500,000	219,060	3,500,000	幹事会等(700,000)、総会等派遣:本部(1,000,000) 支部(900,000) 他
3. 通信費	130,000	53,444	130,000	ハガキ・切手(70,000)、慶弔電報(30,000) 他
4. 支払報酬手数料	70,000	31,980	70,000	振込手数料、残高証明書発行手数料、他
5. 消耗品費	50,000	4,248	50,000	事務消耗品 他
6. 印刷費	70,000	17,669	70,000	リソグラフ、コピー機使用代
7. 雑費	0	20,000	20,000	同窓会費返還等
II. 事業費	31,410,000	28,047,630	16,950,000	
1. 行事費	2,700,000	1,493,477	2,700,000	卒業生記念品(1,600,000)、懇親会(0)、退職者記念品(150,000)、永年表彰記念(200,000)、奨励生の集い(10,000)、ホームカミングデー 他
2. 同窓会文庫費	400,000	400,000	400,000	寄贈図書
3. 補助費	5,410,000	4,022,000	5,900,000	各支部補助(4,212,000)、周年事業費:(旭川支部200,000)、英研・学祭・体育祭補助(400,000)、サークルOB通信費(60,000)、派遣留学生への支援(1,000,000) 他
4. 奨励費	500,000	500,000	500,000	@100,000×5名(奨励金)
5. 奨学費	0	0	0	大学の自宅外通学支援奨励金制度の廃止に伴い、支出なし。奨学資金として北洋銀行(普)に積立
6. 会報発行費	5,600,000	5,429,348	5,600,000	印刷代(1,100,000)、郵送料・宛名印刷等(4,500,000) 他
7. 業務委託費	700,000	690,805	750,000	名簿整備 他
8. プロジェクト活動費	600,000	12,000	600,000	交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費他
9. 寄附	500,000	500,000	500,000	北星学園創立100周年記念館運営(維持・保存)
10. 学生支援金	15,000,000	15,000,000	0	
III. 予備費	1,196,388	0	5,006,857	
IV. 資金積立金	2,500,000	2,500,000	2,500,000	積立先:北洋銀行(普) 内訳:奨学資金2,500,000円
V. 次年度繰越金	0	8,396,857	0	
＜支出計＞	39,326,388	39,346,388	28,696,857	

【活動資金積立会計】 (単位:円)					
活動資金積立	2020年度末(2021.9)決算額	2021年度積立額	2021年度取崩額	2021年度末(2022.9)見込額	備 考
合 計	71,244,586	2,500,000	0	73,744,586	

同窓会奨励生が決定しました。

国際人になるために 文部 英文学科 3年 成田 光咲

この度は北星学園大学同窓会奨励生に採用いただき、積み重ねてきた経験がこのような形で報われ、同窓会奨励生として北星学園大学に関わっていけることを大変嬉しく思います。



9月13日に学長室にて奨励金授与式を行いました(前列中央が成田さん)

新型コロナウイルスのため後期からの大学生活はオンラインとなり、交換留学生の受け入れも厳しい状態が続くかもしれませんが、国際交流サークル「HOKUSESS」の部長として、新入生歓迎やイベント運営等の引き継ぎをしていきたいです。さらに私は、海外留学会社EFでアンバサダーとしてボランティア活動に携わっています。7月23日から25日に東京でイベントがあり、札幌代表として参加しました。EFは東京オリンピックのサポーターをしているため、オリンピックに関する活動の討論を行いました。コロナ禍ではありましたが、東京オリンピックという大きな舞台に関われたことは貴重な経験だと感じています。

大学生のうちにもう一度留学、もしくはワーキングホリデーを経験し、今以上に語学力を向上させ、卒業後には全国で活躍できるような能力を身につけて、国際人として社会貢献をしたいです。また、同窓会奨励生としても、同窓会活動に積極的に参加していきたいです。



EF留学会社でのボランティア活動(中央列左から3番目が成田さん)

北星学園大学同窓会役員名簿 (任期 2019.10 ~ 2022.9)

役 職	氏 名	卒業年月	役 職	氏 名	卒業年月	役 職	氏 名	卒業年月
会 長	岡田 義明	英74.3	幹 事	清水 一江	家87.3	幹 事	川田 麻里奈	情12.3
副 会 長	小村 知江子	短英65.3	〃	伊藤 修	経90.3	旭川支部長	西岡 将晴	経98.3
〃	赤塚 善彦	経79.3	〃	鈴木 克典	情91.3	帯広支部長	成田 啓介	社90.3
〃	駒ヶ嶺 剛史	経05.3	〃	高橋 章	経96.3	東京支部長	三浦 鶏一	社91.3
幹 事	斎藤 美代子	短英67.3	〃	牧田 浩一	社97.3	北見支部長	遠田 嘉憲	経69.3
〃	有澤 睦子	英74.3	〃	伊藤 貴子	短英96.3	函館支部長	畑中 博史	社78.3
〃	森谷 恭一	英78.3	〃	畠山 美保	短英96.3/大英98.3	釧路支部長	角 隆史	経96.3
〃	森 博	経79.3	〃	馬 潤 慎 吾	情06.3	千歳支部長	北村 昌樹	経89.3
〃	池田 雅子	社82.3	〃	林 孝之	院社12.3	会計監査	瀬部 祐太郎	情14.3
〃	北本 佳子	家84.3				会計監査	今井 綾子	法10.3

支部連絡先 同窓会には各地に支部があります。ぜひ同窓会の活動にご参加ください。

- 旭川支部(1983年発足)支部長 西岡 将晴 090-7648-1997 kembuchi2000@yahoo.co.jp
- 東京支部(1988年発足)支部長 遠田 嘉憲 04-2949-6726 ysr-enda@tbz.t-com.ne.jp
- 帯広支部(1985年発足)支部長 成田 啓介 0155-56-4706 (特養札内寮) mansei@cameo.plala.or.jp
- 函館支部(1988年発足)支部長 畑中 博史 0138-46-2537 hiro-121@sea.ncv.ne.jp
- 北見支部(1987年発足)支部長 三浦 鶏一 連絡先は北見支部総務 関口篤司まで 090-8909-3316 atsushi.sekiguchi@city.kitami.lg.jp
- 釧路支部(1989年発足)支部長 角 隆史 0154-65-9812 kaku4744@msn.com
- 千歳支部(1996年発足)支部長 北村 昌樹 080-5727-9197 masalki9197@gmail.com

北星学園大学短期大学部 創立70周年記念

卒業生と在学生による座談会や記念アセンブリが行われました

北星学園大学短期大学部は2021年度に開学70周年を迎えました。1951年に女子短期大学として始まった短大の70年の歩みを記念し、今年度は様々な広報誌やホームページで北星短大の歴史と現在の短期大学部の様子を紹介しています。

2021年11月10日には、短大同窓会室にて、短大卒業生と現役短大生との座談会が行われ、2022年1月11日には、北星短大が昔から大切にしてきた「アセンブリ」の授業の中で、3名の卒業生に講演していただきました。短大の70年の歴史がこれからも受け継がれ、北星の多くの学生が、ここで学んだことを誇りに大きく成長していくことを期待しています。

短大70周年の歩み

- 1951(昭和26)年 北星学園女子短期大学開学 <英文科>
- 1954(昭和29)年 女子短期大学に家政科設置
- 1958(昭和33)年 女子短期大学英文科に専攻科開設
- 1975(昭和50)年 女子短期大学の英文科を英文学科に、家政科を家政学科に名称変更
- 1989(平成元)年 女子短期大学の家政学科を生活教養学科に名称変更
- 2001(平成13)年 女子短期大学、開学50周年
- 2002(平成14)年 女子短期大学を北星学園大学短期大学部に校名変更し男女共学化、大谷地に移転
同時に、生活教養学科を生活創造学科に名称変更
- 2021(令和3)年 北星学園大学短期大学部、開学70周年



◀卒業生・在学生座談会メンバー
右から、1987年家政学科卒業清水一江さん、1993年英文学科卒業松本裕子さん、短大生活創造学科2年鈴木未侑さん、短大英文学科2年國枝健太さん



▲短大は共学となり男子も在学しています。



▲南4条校舎時代の短大チャペル(1995年12月)



▼生活教養学科調理実習室にて(中央が丸山さん)



▲清水一江さん 懐かしい短大の南4条校舎が映し出されました



▲平井麻由さん 卒業後に通信で保育士資格を取得し、現在は保育園で勤務しています



▲丸山匡恵さん 実験・実習で学んだことを語ってくださいました

短大卒業生3名からのメッセージ

南4条校舎と女子短大同窓会

短大英文科13期 小村 知江子

卒業して暫くは同窓会を思い出すことは殆ど無かった私でしたが、年齢と共に総会・懇親会に出席するようになり、いつしか同窓会のお手伝いをしていました。

南4条校舎の日当たりの良い同窓会室での活動は、家政科1期高谷尚子会長のもと、年1回「同窓会だより」の発行・発送、名簿の整備、毎年開催の「総会・懇親会」と支部訪問(道北、道東、道南、関東)の準備、短大学園祭で販売するパウンドケーキ作り(短大調理室をお借りして)、卒業生の貸衣裳企画等でした。10人ほどの幹事で忙しくも楽しく活動し、当時の教職員の皆様には大変お世話になりました。

その後、短大が短期大学部となって大谷地に移転すると聞かされた時、慣れ親しんだ母校が変わることに寂しさを覚えました。しかし、2002年4月、大谷地キャンパスに移転し短期大学部同窓会となった際、大学会館内に南4条校舎の同窓会室のような日当たりと眺めの良い部屋が用意されており、皆で感謝いたしました。48年間続いた女子短大同窓会と短期大学部同窓会は、2009年に大学同窓会と統合し、一つの同窓会になりました。

創立70周年を迎えた短大の更なる発展をお祈りするとともに、これからも変わらず応援してまいります。



▲前学園長の酒井玲子先生を囲んで(右端が小村さん)

短大開学70周年をお祝いして

私が女子短期大学に入学した1992年は、生活教養学科だけで300名を超える入学者で、華やかで賑やかな短大生活でした。卒業後は、短大教務課実習室係として採用され、女子中高事務室、大学と異動し、現在は大学社会連携課で勤務しています。こうして長く母校で働くことができているのは、周囲の皆さんの支えがあったからだと思ひ、心から感謝しています。

短大での思い出は尽きませんが、多くの尊敬すべき恩師に出会えたことが一番の喜びです。調理実習担当の三浦春恵先生、東川勉美先生には、学生時代に教わっただけではなく助手として一緒に仕事をさせていただきました。お二人の人柄を通して、社会人として大切なマナーや振る舞いを学ばせていただきました。寺岡宏先生には、学生時代に授業を休んだことで呼び出されたこともありましたが、常に優しく励ましていただきました。卒業後は、寺岡先生の通う北一条教会に誘っていただき、自然と私もキリスト教を信じるようになりました。

「神と人を自分自身のように愛しなさい」「神は私たち一人一人を高価で尊い存在として見ておられる」という聖書の教えは、北星短大の教育そのものであり、社会人となってからも母となった今も、私の生きる指針となっています。短大の歴史を忘れずに、北星学園がさらに飛躍していくことを心より願っています。



▲寺岡宏先生と北一条教会にて(2021年11月)

懐かしい「北星学園女子短期大学」

英文学科 96.3 卒業 畠山 美保

私は、1994年女子短期大学に入学し、その後、大学の英文学科へ編入致しました。現在は、恩師である坂内正先生からご縁をいただき、短大生と関わりの深い、英文学科資料室で勤務させていただいております。

女子短大の思い出と言えば①「個人ロッカーと学内上履き用の指定ナースシューズ」。体育用のジャージと上靴も指定で、驚きの連続でした。②生活教養学科食文化コースの先生が開催して下さった「貧血学生対象：貧血改善レシピ紹介&試食会 in 調理実習室」。行き届いたケアを、嬉しく思いました。③教職課程履修で出来る上がる「5講目までフルに埋まった時間割」。当時は、短大でも教員免許が取得できました。また、土曜日にも講義があり、取得総単位数は100単位超え！④放課後の日課は、「学内トレーニングルーム通い」。南4条キャンパスには、本当にお世話になりました。

短大部になってからも変わらない伝統の1つはクラス・担任制度で、先生と学生との距離が近く、温かな雰囲気は健在です。多様な海外プログラムやチューター制度等、当時より充実していることもたくさんあります。

短大生の皆さんが、有意義な学生生活を送ることができるよう、微力ながらもそのお手伝いをさせていただいていることは、とても光栄です。私にこの環境を与えてくださっている皆様には、心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、Congratulations on our 70th anniversary!!



▲短大2年 ゲティングス先生と



▲英文1年オーラル・イングリッシュ(右端が畠山さん)

生活教養学科 94.3 卒業 西藤 陽子

新企画プロジェクトからのお知らせ

講演会・コンサート等も回を重ねる毎に、多くの皆さまのご参加をいただき心より御礼申し上げます。
今後も皆さまに楽しんでいただけるような充実した企画にしたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

コンサートの申込方法について

パイプオルガンコンサート

申込み受付期間:5月9日(月)~5月27日(金)
定員になり次第締め切らせていただきます。

「パイプオルガンコンサート参加希望」と、氏名、ふりがな、電話番号、参加希望人数を明記の上、北星学園大学ホームページの「申込フォーム」、ハガキ、電話、e-mailでお申し込みください。事前の整理券等は発行しませんので、お申し込みされた方は当日直接会場へお越しください。

なお、新型コロナウイルスの感染状況により、中止する場合がございます。本学ホームページにてお知らせいたしますので、ご了承ください。

お申し込み・問い合わせ先

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
北星学園大学同窓会事務局
同窓会プロジェクト係
TEL 011-891-2731
メール: dousoukai@hokusei.ac.jp



お願い

感染予防対応として、間隔を空けての座席になります。
未就学児の入場はご遠慮ください。
公共の交通機関でお越しください。

Kitara専属オルガニスト パイプオルガン コンサート

～ルネッサンスからバッハにかけてのスタイルス・ファンタスティクス～
第22代札幌コンサートホール専属オルガニストのニコラ・プロカッチーニ氏をお迎えします。どうぞお楽しみください。

日時: 2022年5月28日(土) 午後2時から 会場: 本学チャペル



プロフィール

1995年、イタリア生まれ。イタリア国立フェルモ音楽院にてチェンバロを、ハンブルク音楽演劇大学、現在はパリ国立高等音楽院にてオルガンを学ぶ。2017年、第5回アガティートロンチ国際オルガンコンクール第2位、18年、第5回ブクステフーデ国際オルガンコンクール優勝。ドイツ、イタリアの教会をはじめ、世界各国の国際古楽フェスティバルなどで多数コンサートに出演。チェンバロや通奏低音の奏者としても活躍する。
2021年10月、第22代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任。

予定演奏曲目

- ホーフハイマー: 思い出させたまえ
Recordare / Ab hac familia
- フレスコバルディ: 「カプリッチョ集 第1集」より
ルッジェーロのアリア
Capriccio sopra l'aria di Ruggiero From Primo libro di Capricci
- バッハ: 前奏曲とフーガ短調 BWV 535
Prelude and Fugue in G minor BWV 535
- バッハ: フーガ短調 BWV 578
Fugue in G minor BWV 578
- バッハ: 幻想曲ト長調 BWV 572 他
Pièce d'orgue BWV 572

北星オープンユニバーシティ 2022年度 前期講座のご案内

北星オープンユニバーシティでは2022年度も卒業生や一般の方向けの講座を以下の日程で募集予定です。
募集する講座の詳細については、4月以降に北星オープンユニバーシティホームページにてご案内する予定ですので、興味のある方はぜひホームページをご覧ください。

【募集期間】
5月10日(火)~5月24日(火)

【募集講座(予定)】
語学系: 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ハングル語、ラテン語、スペイン語などを予定。
その他教養系の講座も開講準備中です。

【受講料(予定)】
卒業生: 15,000円(1回90分×10回)
一般: 18,000円(1回90分×10回)
※詳細は北星オープンユニバーシティのHPをご覧ください。

【問合せ先】
社会連携センター(社会連携課内)
メールアドレス: open.univ@hokusei.ac.jp



千歳 yosakoi ビアフェスタ

千歳支部報告

千歳支部は、千歳市、恵庭市及び苫小牧市に在住の大学及び短期大学の同窓生が集まり、定期総会後の懇親会をはじめ、ボーリング大会や支笏湖水まつり、日帰り温泉、極寒焼肉祭りなどの交流活動を行っているほか、千歳市の夏を盛り上げる「スカイ・ピア&YOSAKOI祭」に参加される「井原水産&北星学園大学チーム」への激励などを通じて現役学生との交流も行っています。

近年はコロナ禍において行事の開催を自粛していますが、感染対策を徹底した上で定期総会は開催し、会員の親睦を継続しています。

現在、千歳支部では、活動内容や行事の楽しさを知ってもらうことを目指し、これまで同窓会本部のホームページ上で公開されてきた支部紹介パンフレットに代えて、デジタル映像による「支部紹介及び会員加入促進」に取り掛かっています。

千歳支部では、今後においても同窓会ホームページや大谷地だよりのほか、地域情報誌なども活用し交流事業の周知を図り、同窓生の親睦を図ってまいりますので、ぜひご参加ください。



2021年11月27日 総会

同窓生の紹介



三浦 啓子さん(旧姓:長内)
1993年3月 文学部 社会福祉学科 卒業

現在、岩見沢市栗沢町にある障がい者支援施設福祉村で支援員としております。

福祉村は日中活動の一環で創作(芸術)活動を行っており、描かれた作品は利用者(作家)さんのその人らしさが表現された独創的で魅力的なものが多くあります。

昨年より芸術の担当窓口となり、この作品を地元の地域の方々に観てもらいたい、芸術を通して地域との橋渡しができたらという想いから10月に3日間、岩見沢市栗沢市民センターで「福祉村アール・ブリュット展」を開催しました。「アール・ブリュット」とは「生(き)の芸術」を意味し、正規の美術教育とは無縁の、既存の芸術概念や流行にとらわれない作品のことを指します。近年国内外で注目されてきており、道内では特に岩見沢市が力を入れています。初めての試みでしたが、多くの方たちに足を運んでいただき、大変反響がありました。

芸術には素人の私でしたが、彼らが生み出す作品の魅力、芸術がもたらす影響、新たに生まれた人と人とのつながりなど色々な可能性を知りました。

長年福祉の仕事をしてきましたが、また新たな面白さを感じながら新鮮な気持ちで取り組んでいます。



卒業生から一言



大学生活を振り返って
文学部英文学科 4年 櫻田 優花

私の大学生活は多くの素敵な出会いに溢れていました。面白い授業をしてくださった先生方、外見も内面も美しく向上心溢れる英文学科の友人たち、いつも笑わせてくれた軟式庭球部の仲間と書ききれないほど多くの方々にお世話になりました。また、海外でのボランティア体験や、ドラッグストアや百貨店など、多くのアルバイトの経験を通して、新しい価値観にも出会ったことが出来ました。一方で、最悪な出会いもありました。私たちの日常を奪った新型コロナウイルスとの出会いです。そのため、3年のときからオンライン授業が始まり、レポート課題に追われる日々や孤独感に苛まれる日々など、従来の大学生活では味わうことがなかったであろう日常を過ごしました。しかし、そのようなときでも、支えてくれたのは素敵な友人たちでした。SNSで互いに励まし合い、直接会えなくても友人の大切さを実感できました。入学した当初から卒業する今まで変わらず思うことは、「北星に入学して良かった」ということです。毎日が楽しく、大学で過ごす時間が大好きでした。この場をお借りして、お礼を申し上げます。ありがとうございました！



感謝
経営情報学科 4年 ライト 斗士治

私は北星学園大学で充実した4年間を過ごすことができました。そうできたのも温かい先生・職員のみならず、いろいろな先輩のおかげです。ゼミでお世話になった鈴木教授は、学生が活躍できる環境を提供してくださる先生でした。ゼミで参加したのは、学生の視点から新さっぽろの商業施設の改善案を考え管理会社に提案する活動です。調査や資料作りは難航しましたが、私たち学生の考えを尊重し信頼していただけた姿勢に励まされ、満足いく発表ができました。

また、所属していた東アジア学生交流委員会では、国際教育課の職員のみならずお世話になりました。留学生との交流イベントを企画・運営で、数多くのサポートをしていただき嬉しかったです。フレンドリーに学生と接していただきその姿勢は、委員会の和気藹々とした雰囲気に繋がりました。その他にも、教養ゼミや経営情報学科、教職課程の教職員のみならず、厳しくも優しい指導をして頂きました。4年間本当にありがとうございました。最後に、この場を借りて同窓会のみならずにも感謝申し上げます。卒業後も北星学園大学で出会った方々の方々のことを忘れず精進して参ります。



恵まれた大学生活
社会福祉学部 4年 福社計画学科 浪内 紫雲

卒業を控える身となった今日、これまでの大学生活を振り返ってみると、数多くの経験と成長の場に巡りあえた5年間であったと実感しています。その中で、私が最も学んだことは、自己覚知に基いた「多様な縦の人間関係」が、自身の目標達成において重要であるということです。また、その人間関係の形成において「深い自己覚知」が不可欠であることも学びました。

私の大学生活には、この2点が比較的充実していたのかもしれない。そのため、新型コロナウイルスの感染拡大により結果的に中止になってしまいました。本学の派遣留学制度の選考を通過できたのかと思います。また、現在の専攻分野とは異なる分野への大学院進学を果敢とせよ、以上の2点が大きく影響していると思います。卒業後は、別大学での新しい大学院生活が始まりますが、本学でのごくご自身の学びを活かして、充実した生活を送っていきたく思います。最後になりますが、この場をお借りして、お世話になった友人や教職員の方々、そして何より、これまでの、そしてこれからの私の学生生活を応援し続けてくれる両親に恵まれたこと、心より感謝申し上げます。



コロナ禍での短大生活
短期大学部英文学科 2年 竹森 恵里花

2年間の短大生活がもう間もなく終わりを迎えるようになっています。この2年間、オンライン授業が半分以上を占めていました。勉強するにあたってはオンラインでも問題なく学習することができ、周りの目を気にすることなく個々のペースで集中して学べ、先生方も学生1人ずつに寄り添ってくださったため相談しやすい環境になりました。2年生のサークル活動もできるようになったため、入学当初に想像していた学生生活を謳歌することができました。授業後に友人や先生と何気ない会話ができたり、一緒に駅まで話しながら帰ったり、お昼ご飯を一緒に食べたりと、この時間をとても幸せに感じることはコロナ禍でなければ気づかなかつたのかなと思います。また、オンラインのセミナーが普遍的に行われるようになった今だからこその日本を超えて海外のセミナーに参加することができ、多様な考え方を直接学ぶことができたり、交流を広げられたりするチャンスとなり、ますますの学生生活を過ごせたと思います。短大生活での経験や学びを活かしてこれからも学習を続け、さらなるステップアップを目指していこうと思えます。

退職される教職員の方々からのメッセージ



ただただ、感謝あるのみ
経済学部 教授 山我 哲雄

1990年の赴任以来、30年以上にわたって本学で聖書・キリスト教関係の教科を担当してきました。建学の精神に関わる働きを続けてこられたことに、誇りと感謝を感じています。大学時代に洗礼を受けてクリスチャンになりましたが、本学赴任前は、非常勤講師の職は多くあったのですが、なかなか専任職を得られずにおりました。キリスト教系の学校では、聖書関係教科の教員に宗主任などを兼務させる場合が多く、牧師の資格を求めていることが少なくないからです。幸いなことに北星学園大学の場合は、宗務に専念する専任のチャプレンがいるので、教員としてのポストを得て、講義と研究に専念することができました。教員としても、研究者としても、充実した日々を過ごさせていただきました。大学を去るにあたって、ただただ、感謝あるのみです。本学のキリスト教主義の特徴は、キリスト教の伝統と聖書の精神を尊重しながらも、信仰やキリスト教的価値観を職員や学生に無理押ししない、リベラルで多様性に対して開かれた姿勢であると思います。このことは例えば、礼拝などの宗教行事がすべて自由参加であることに表れています。学生一人一人の主体性と信教の自由を尊重する姿勢です。北星学園大学が、今後ともこのようなリベラルなキリスト教主義の伝統を保ちながら、益々発展することを祈って止みません。



はたして「北星らしさ」とは
社会福祉学部 准教授 中田 知生

最後に少し昔話絡みの話を。私が北星学園大学に赴任したのは、28年前になります。新しい社会福祉学部ができる直前で、北星の社会福祉学部を作ってきた第一世代の諸先生がバリバリ働いていらした時代です。まだ当時の大学は、まだ時間的な余裕があったのか、諸先生のパソコンのお世話を言いつけられたり、また、学部内でも任意の飲み会を開いたりしたころでした。会議も長く、夜食の差し入れを受けたりということもありました。

いま、そんな時代を思い返すと、退職されていく諸先生が「北星らしさ」と表現するものは、何であったのであろうかと考えてしまいます。確かに、そのような時代はそれらの先生の考え方がぶつかり合い、そして、それらがうまく統合されて行く様を見られました。もしかすると、それはそのような時代だったからかもしれないし、また、それらの諸先生のなされる技であったのかもしれない。しかし、「北星らしさ」をしっかりと私が理解できず、次の世代にそれを引き継ぎたいことができたか否かわからないことは、いまの私のひとつの後悔として残っています。現在、大学をめぐるガバナンスが話題となっていますが、「北星らしさ」も、そのガバナンスに関連があるものであろうかと改めて考えています。はたして大学はどうなっていくのでしょうか。今後も興味深く、北星学園大学の行方を見守っていきたく思っています。お世話になりました。



退職にあたって
短期大学部 教授 中村 浩

2000年4月に北星学園女子短期大学に奉職して以来23年が過ぎようとしています。前職に23年勤めていたことになりました。改めまして、その間お世話になりました先生や職員の方々、並びに色々な形で支えていただいた同窓会の方々、そして御礼申し上げます。私がこれまで所属してきた短期大学部生活創造学科は専門分野が異なる7名の教員によって運営され、学科としては多少変動的な編成となつていますが、専門分野は異なるにもかかわらず教員全体の一体感の強さはどこにも引けを取らないものでした。常に学生を中心に学科が運営されており、例えば学科教員による忘年会などというものがほとんど一次会から場所を変えることなく数時間話題が尽きないということが常で、その話題の多くが学生たちのことでした。私が勤め始めた頃にはすでにそれが習慣化していたようで、学生の生活指導を含めて先生方の教育への熱心が伝わってきて、私には学科そのものがとても心地よい空間でした。

そういう環境の中で研究者としての私が努めてきた一つのことは、学生たちに教員に関する引目を感じてもらいたくないというものでした。得てして短大では学生指導が中心になるあまり、研究に多くの時間を費やせないという問題が生じるのですが、学生たちには少なくとも自分のゼミの先生は心理学のこの分野ではある程度名前が知られている研究者であるという認識を持ってゼミや授業に参加してもらいたいと思っていました。残念ながら私の心理学における専門分野が知覚心理学という基礎的な分野であったこともあり、学生がそのことをどの程度意識して授業を受けていたかについては多少不安が残りますが、私自身の研究者としての矜持を常に意識させてくれたのが学生たちの存在だったと思います。ただこの23年間を振り返ると本学での学生教育と研究のバランスがうまく取られていたのか心配にはなるのですが、逆にいうとそのバランスに苦勞しながら毎日を過ごさることが短大教員としての生き方だったようにも思います。そしてこれらのことを常に意識させてくれた学生たちに最後にお礼を述べて退職の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



十年一日の如し
司書課 宮川 淳子

1982年5月1日。これが私の初出勤日でした。親が新聞で見つけた「司書募集」の求人に応募し、強運に助けられて北星学園女子短期大学図書館に職を得たのです。そこは当時でも珍しいほどレトロな感じ溢れた建物で、若い自分の思い出がいっぱいあります。7年後、大学に異動しましたが、その後も図書館に配置され続け、40年という人生の三分の二の時間を北星の図書館で過ごしました。こんな長い間、まさか定年まで仕事を淡々と時が過ぎました。長い年月の間には私にとつての荒波もあつたはずですが、特段の悩みも抱えず、まさに十年一日の如しです。これは私の周りにいたすべての方々に感謝するしかありません。

さて、いろいろな様変わりはあるけれども、図書館はいつの時代も学生が集まり、長い時間を過ごす施設であることは図書館職員としては喜びでした。また、終わりの2年間はコロナ禍が続き、当たり前だった行事とも疎遠になりましたが、それまで折々に聖書・讃美歌に触れていたことが前のような、愛おしいような気がします。他の職業も勤め先も知らない半人前のような、愛おめを終えるところですが、北星学園が職場であつたことを幸いに思っています。同窓生の方々もふと、そのように北星を思い出さずにはいないでほしいです。最後に同窓生の皆様のご活躍と同窓会のご発展を心よりお祈りいたします。ありがとうございました。

同窓会支部をつくりませんか!



卒業生数は54,000名に増加していますが、この四半世紀に支部の新設はなく、支部数は7支部のみで、カバーしている会員数は全体の11%余りにすぎません。支部は同窓会の基礎、同窓会を束ねる太い糸、同窓会の最前線です。支部未設置の地域にお住いの皆様、支部をつくりませんか。

「同窓会支部設置規約」により手続きをしてください。規約には、「幹事会の承認を経て支部を設けることができる。支部を設けようとするときは、2名以上の代表者を定め、当該支部の地域、名称を示し、現在会員の名簿を添え会長に申し出ることとする。支部長1名、幹事若干名、会計監査1名、その他支部の実情に合せて役員をおくものとする」と定められています。会員の名簿については、電子データを同窓会事務局が管理しておりますので、支部設置を検討される場合は、事務局を通して本部にご相談ください。支部づくりを支援させていただきます。なお、支部設置規約の詳細は同窓会ホームページの「会則」をご覧ください。

北星学園大学同窓会役員(会長・副会長)候補者の募集について

北星学園大学同窓会では、次期役員(会長・副会長)候補者を次の通り募集いたします。

1. 募集

- 1) 会長 1名
- 2) 副会長 3名

2. 任期

同窓会定期総会(2022年10月15日)にて承認後から3年間

3. 職務内容

幹事会、各支部の懇親会、役員会、大学内行事(入学式・卒業式等)への出席(交通費は別途支給)

4. 応募資格

- 1) 北星学園大学院、北星学園大学、北星学園大学短期大学部、北星学園女子短期大学の同窓生であること
- 2) 北星学園大学の建学の精神及び本会の目的を理解・賛同できる方

5. 募集期間

2022年1月17日(月)～2022年4月15日(金)必着

6. 応募方法

次の応募書類を本学 HP からダウンロードし、郵送またはメールにて同窓会事務局までご提出ください。なお、自薦他薦は問いませんが、他薦の場合は、本人の承諾を得たうえでご応募ください。

- 1) 履歴書(別紙様式1)
- 2) 自薦・推薦書(別紙様式2)

7. 選考方法

役員選考委員会で選考し、2022年6月の幹事会の承認を得て、10月の定期総会で選任いたします。最終候補者の氏名等の公表は、2022年6月幹事会承認後となります。

8. 問合せ・書類提出先

北星学園大学同窓会事務局
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
北星学園大学社会連携課 担当: 西藤(にしふじ)
TEL 011-891-2731(代表)
メール dousoukai@hokusei.ac.jp

北星学園大学同窓会は、2022年3月の卒業生を含め同窓生会員が54,000人を超えました。現在多くの同窓生が北星学園大学で学んだことを活かし、全国各地で活躍しています。同窓会と北星学園大学がこれからますます発展していくために、同窓会活動に積極的に関わってくださる方の応募を心よりお待ちしております。なお、北星学園大学同窓会の活動については本学 HP よりご確認ください。



本学同窓会 HP QRコード

サークル活動ニュース 2021年度

アカペラサークルぼらりす!

クラスメイトの夜
何でもライブ
第20回ミニハン・クリスマス市 in sapporo
北星学園女子中等学校スミス奏ワグネル協会

アメリカンフットボール部

秋季リーグ
北海道アメリカンフットボール協会主催・指名試合

アルティメット部

第32回全日本大学アルティメット選手権大会地区予選
優勝(女子)
第32回全日本大学アルティメット選手権大会本選
HOKKAIDO-INDOOR ULTIMATE
2021

演劇サークル

定期公演
11月公演

演舞同好会

24時間テレビ
学生合同出演式
北海道元氣文化祭 SAIKAIステージ
JENESYS ASEANカンボジアダンス 日本文化交流
YOSAKOIソーラン Grandprix

弓道部

第68回全道学生弓道選手権大会
2021年度全日本学生弓道選手権大会 予選
第67回全道学生弓道選手権大会 女子の部
第53回全道学生弓道新人戦

競技ダンス部

第46回北海道東北学生競技ダンス対抗戦
第54回全道学生競技ダンス選手権大会
第66回全日本学生競技ダンス選手権大会

軽音楽部

12月ライブ
1月ライブ

剣道部

北海道剣道選手権大会兼全日本剣道選手権大会北海道予選
第66回北海道学生剣道選手権大会 第37回北海道女子学生剣道新人戦大会
女子個人5位入賞 全国大会
第55回全日本女子学生剣道選手権大会

硬式野球部

令和3年度北海道学生テニス選手権大会
令和3年度全日本学生室内テニス選手権大会
北海道地区予選北海道学生テニス選手権大会

硬式野球部

札幌学生野球春季リーグ戦 3部リーグ同率優勝
札幌学生野球秋季リーグ戦

サウンドガレージ

定期演奏会

サッカー部

学生サッカーリーグ

茶道部

浴衣茶会2021
炉開き2021

写真部

三大学合同写真展2021
フォトサイクリングプロジェクト SAPPORO
2021 to 2023

硬式野球部

清瀬杯第53回全日本大学選抜硬式野球大会地区予選
文部科学大臣杯第73回全日本大学選抜硬式野球選手権北海道地区予選 準優勝
北海道地区予選 準優勝
文部科学大臣杯第73回全日本大学選抜硬式野球選手権大会

書道部

令和3年度北海道地区大学選抜硬式野球秋季大会 3位
第39回全日本大学ソフトテニス対抗硬式野球大会

チアダンス部

チアダンス発表会

バスケットボール部

秋季リーグ戦
男子第73回北海道大学バスケットボール選手権大会
女子第66回北海道大学バスケットボール選手権大会 (秋季リーグ戦)

バレーボール部

第54回大樽杯北海道大学男女バレーボールリーグ春季大会
第48回原野杯北海道大学男女バレーボールリーグ秋季大会
女子3部2位

ハンドボール部

令和3年度第48回北海道学生ハンドボール春季リーグ戦大会
男子5位 女子3位
代表取締役 中村 英士

放送研究会

さっぽろ村ラジオ 学生のためのコミュニティラジオ
パーソナリティ出演

フットサル同好会

北海道フットサルリーグ2021
北海道地域カレッジリーグ2021

ラクロス部

ROOKIE LEAGUE 2021
第26回北海道学生ラクロスリーグ戦

ラグビー部

2021年度北海道インカレ大会

陸上競技部

北海道学生連勝大会第2戦
北海道札幌マラソンフェスティバル2021
北海道学生連中長距離競技大会
道央陸上記録会 第6戦
第28回道央陸上競技選手権大会
三段跳 優勝 大原圭登
第73回北海道学生陸上競技対抗選手権大会
道央陸上記録会第7戦 兼 第28回北海道陸上競技フェスティバル
第9回北海道ハイテクAC陸上競技選手権大会
第50回北海道学生陸上競技選手権大会
男子三段跳 優勝 大原圭登
女子200m5位入賞
2021 デイスタウンスタイムトライアル

<住所変更届をお忘れなく!>

会員の皆様や同窓生のご友人・ご家族で住所が変わった方は同窓会事務局までご一報ください。本学ホームページの住所変更フォーム、メール・FAX・はがき・電話にて受け付けておりますのでご協力をお願いします。個人情報情報は同窓会活動以外には使用いたしません。

北星学園大学同窓会事務局 (社会連携課内)

〒004-8631
札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
TEL: 011-891-2731
FAX: 011-896-8311
E-mail: dousoukai@hokusei.ac.jp



編集後記

本日から同窓会の一員となられた皆様、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍での大学生活は多くの苦労があったと思いますが、北星学園大学、北星学園短期大学、北星学園女子短期大学で学んだことを忘れず、新たな世界で一人一人輝いて歩んでほしいと願っています。同窓会はこの人々を応援しています。(同窓会事務局 西藤)

■寄付者ご芳名一覧 (2021/8/1～2022/1/31)

古川 敬康	中村 成未
大平 学	北星学園大学同窓会
本間 ミドリ	帯広支部
及川 啓彰	山下 克彦
株式会社イーエヌ	伊藤 好孝
代表取締役 中村 英士	武田 英子
近藤 総子	小間 宏幸
アニス 美和	榎波 明彦
安田 順助	菊地 幸広
若林 伸二	平野 尚
舩森 匡子	柳瀬 尚
谷 さつき	北川 健一
砂金 栄治郎	石川 芽衣
樋田 繁治郎	亀山 巴さ
塩見 武	松田 謙
羽毛田 常治	上口 晃
山田 滋	
野村 誠	匿名希望 21名
廣瀬 慶治	(敬称略・順不同)
佐藤 至子	
大山 綱夫	

※ご芳名の掲載は、本学へ入金された日を集計しております。(インターネットからクレジット決済でご寄付された場合、本学へ入金確認されるまで通常1～2か月程度を要します)

■各種事業別内訳 (単位:円) (2021/4/1～2022/1/31)

内 訳	件数	金額
学園全体の教育の充実	19	640,001
通信環境整備等支援金	2	310,000
教育研究サポート	58	2,081,000
ボランティア活動サポート	3	70,000
キャンパス整備サポート	13	337,000
奨学サポート	25	604,500
社会貢献・地域連携サポート	7	140,000
国際サポート	5	50,000
スポーツ・文化活動サポート	3	30,000
計	135	4,262,501

■寄付者区分別内訳 (単位:円)

区 分	件数	金額
在校生父母	32	534,000
同窓生	39	1,866,000
役員	19	350,000
教職員・旧教職員	37	1,110,000
一般・団体	8	402,501
計	135	4,262,501

日本学生支援機構 奨学金を貸与されていた同窓生の皆様へ

大学学生生活支援課から(奨学金貸与利用された一部の同窓生へ)のお知らせがあります

在学中に日本学生支援機構奨学金を貸与されていた同窓生の皆様は、卒業年の10月から、口座振替により返還開始となっております。新規卒業者は、今年10月から返還が開始になりますが、初回引落しができないと、延滞となり、その状態から抜け出せなくなる恐れがあります。返還が困難な場合は日本学生支援機構の相談窓口(TEL0570-666-301)にお問い合わせください。皆様の返還金は、次の奨学金の原資となります。本学としても、後輩学生のため、皆様に格別のご留意をお願い申し上げます。